鹿児島市の
学校支援ボランティア事業

鹿児島市教育委員会　生涯学習課

はじめに・・・

○　導入の目的

郷土の財産を活かして
- 郷中教育
- 校区公民館運営審議会（青少年育成）

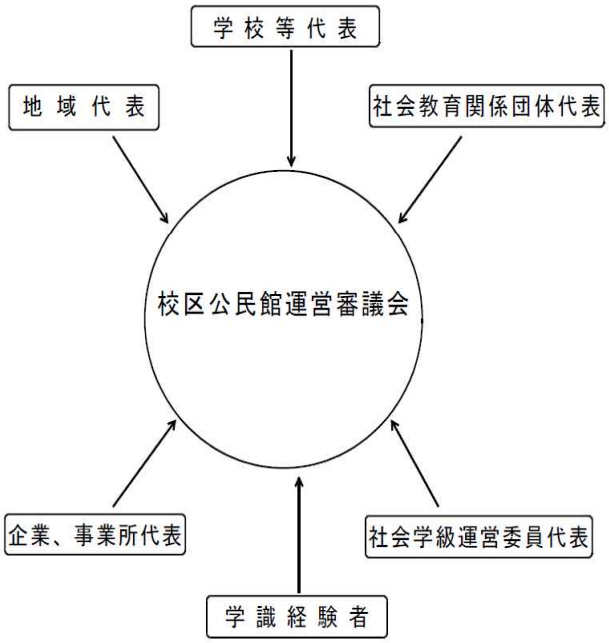
校区住民の生涯学習
- 経験や学んだことを活かす場
- 生きがいづくり

- 地域住民が学校支援活動に参加し、学校を地域ぐるみで支援することにより、教職員が児童と向き合う時間の拡充と地域の教育力の活性化を図る。

○　校区公民館運営審議会とは･･･

校区公民館の組織

校区公民館運営審議会委員の構成



- 生涯学習（社会学級）
- 文化・体育振興事業（校区文化祭）
- 青少年健全育成（校外補導、子ども会育成）
- ふるさとづくり（市民あいさつ運動、伝統芸能伝承）など

１　今年度の取組内容

（１）　事業の実施状況

○　平成２４年度実施状況

・地域本部　３２本部

・地域コーディネーター３２人

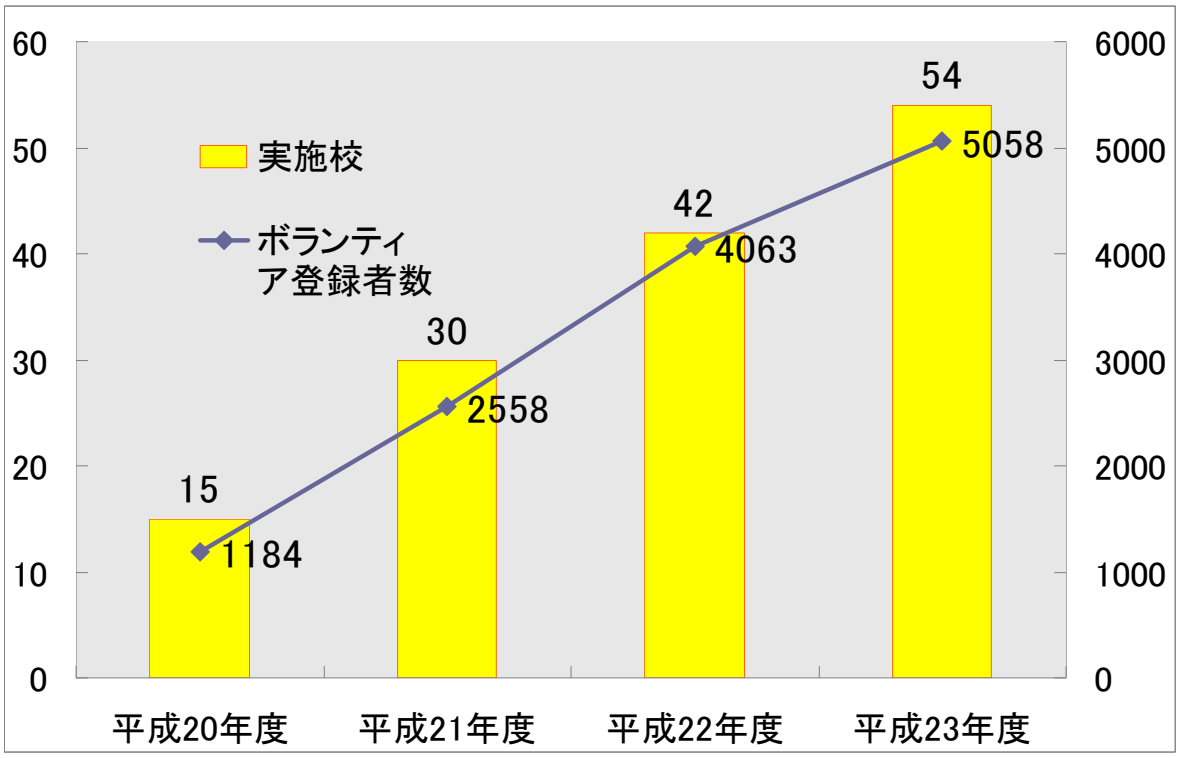
（本市での学校勤務経験者、
実施校の地域の事情に詳しい人）

（３校担当２人、２校担当２５人、１校担当5人）

・実施校　小学校６１校

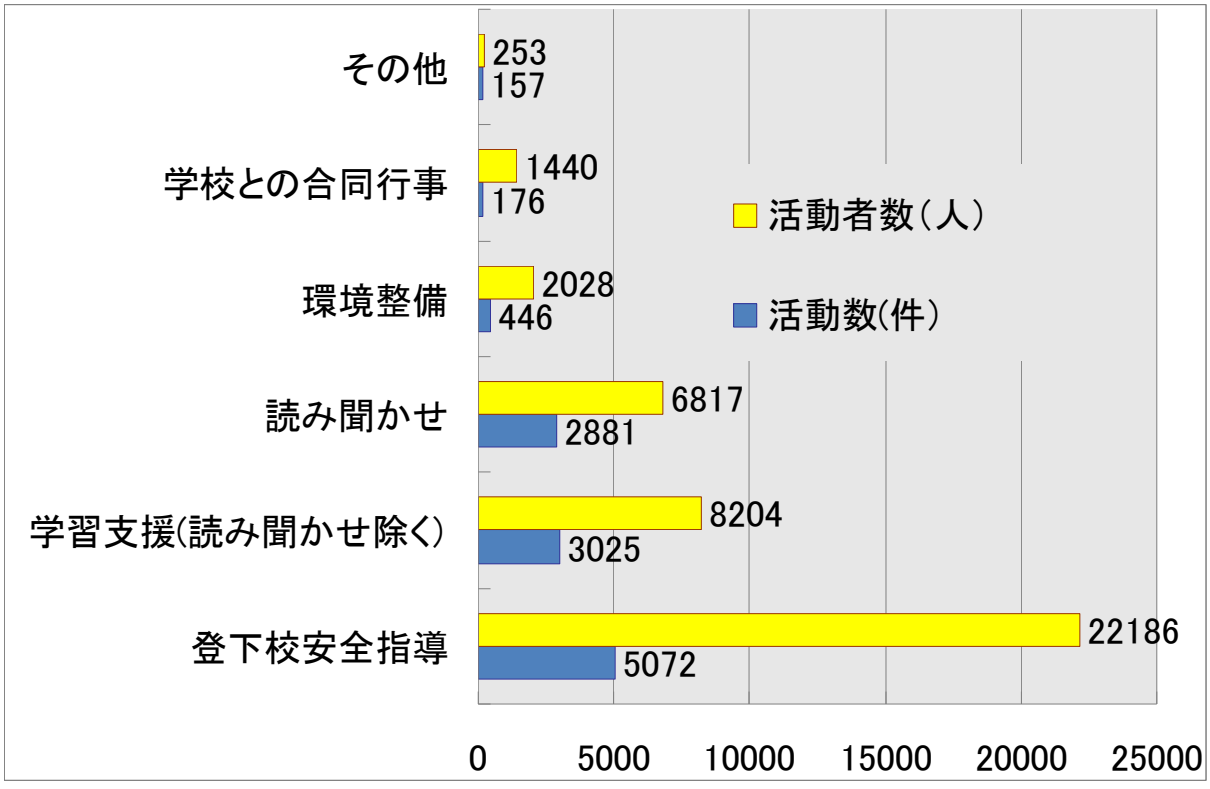
（新規実施校：７校）

○　実施校及び登録者数の推移



○　主なボランティア活動数と活動者数

（平成23年度実績）



（2） 課　　題

項　目　(※複数回答、項目一部抜粋、数値は%)	実施校	本部
1　学校がボランティアに期待する活動の内容が明確になっていない	24	44
2　学校のニーズに合うボランティアがいない	20	28
3　本事業に関する学校・教職員の理解が不十分	19	44
4　ボランティアが活動できる時間と学校側の求める活動時間が異なる	19	31
5　地域社会の理解が十分でない	7	22
6　コーディネーターと学校の連携が不十分	7	12
7　学校における受け入れ体制が十分整備されていない	6	22
8　PTAや保護者の協力が十分でない	4	18
9　ボランティアの研修会や養成が不十分	4	3
10　ボランティアに教師が頼りすぎる	2	9

※平成23年度実施校・本部へのアンケート集計より

（3） 課題に関する改善策と取組

①　学校のニーズに合ったボランティアの確保と活動の継続に向けた取組

②　活動内容の明確化と学校との連携

③　新規実施校の取組

学習支援（体育科）

２　これまでの取組による効果

（１）　学校のニーズに合ったボランティアの確保と活動の継続に向けた取組

①　地域教育協議会の充実と校区公民館運営審議会との連携

②　活動の意欲を高める取組

③　効果的なネットワークづくり

①　地域教育協議会の充実と校区公民館運営審議会との連携

地域教育協議会とは・・・
・実施小学校区の校区公民館運営審議会に依頼
・年2回の会議で、地域本部での支援の方針等について企画・立案し、支援活動の成果と課題の協議

・校区公民館運営審議会内の団体からの情報提供
・新聞折込チラシや町内会協力による学校支援便り等の配布

折込チラシ

あなたの力を春山小学校に

未来を担う子どもたちを地域で育てる学校支援ボランティア

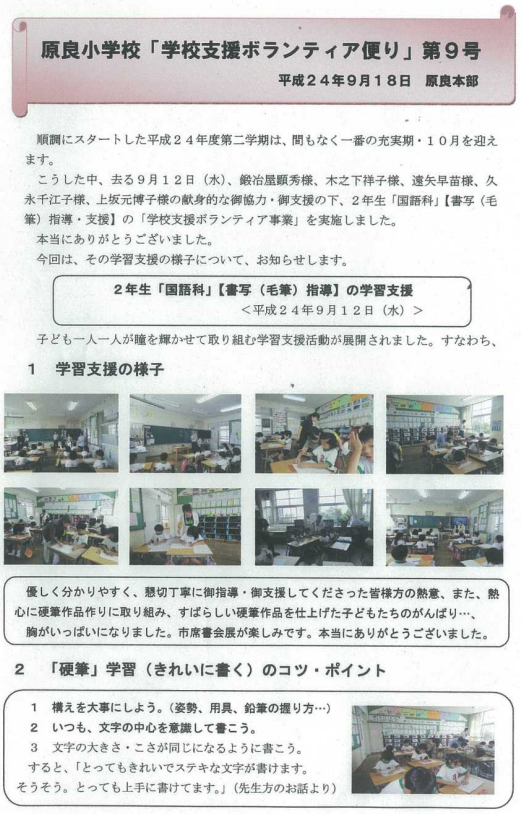
学校支援ボランティアとは
○ 資格はいりません。
○ 子どもたちを温かく見守ってくださる気持ちが一番です。
○ 今までの経験や趣味を生かすこともできます。

鹿児島市教育委員会では，市内３２地域本部を設置し，６１の小学校で学校支援ボランティア事業を実施しています。
春山小学校では，これまで３年間，校区公民館審議委員会や地域の皆さんの御支援・御協力のおかげで，多大な実績をあげています。本年度も，次のようなボランティアの募集をしますので、希望していただける方は是非，下の連絡先までご連絡ください。

・趣味や特技を生かして，授業の支援をしていただける方
・樹木の剪定や草刈りをしていただける方
・農作業に関する助言、指導をしてくださる方
・昔の人々のくらしについて話をしてくださる方
・パソコンの指導の支援をしてくださる方
・家庭科の調理や裁縫・ミシンの指導をしてくださる方
・金管バンドの楽器指導を支援してくださる方
・体育の水泳・鉄棒など支援をしてくださる方
・その他，得意としていることをボランティアしてくださる方

＜連絡先＞　春山地域本部
地域コーディネーター　[illegible]
受付期間：いつでも受け付けます。
申込先　：春山小学校　校区公民館内（080−6449−8878）

学校支援便り



原良小学校「学校支援ボランティア便り」第９号
平成２４年９月１８日　原良本部

順調にスタートした平成２４年度第二学期は、間もなく一番の充実期・１０月を迎えます。
こうした中、去る９月１２日（水）、鍛冶屋顕秀様、木之下祥子様、遠矢早苗様、久永千江子様、上坂元博子様の献身的な御協力・御支援の下、２年生「国語科」【書写（毛筆）指導・支援】の「学校支援ボランティア事業」を実施しました。
本当にありがとうございました。
今回は、その学習支援の様子について、お知らせします。

２年生「国語科」【書写（毛筆）指導】の学習支援
＜平成２４年９月１２日（水）＞

子ども一人一人が瞳を輝かせて取り組む学習支援活動が展開されました。すなわち、

１　学習支援の様子

優しく分かりやすく、懇切丁寧に御指導・御支援してくださった皆様方の熱意、また、熱心に硬筆作品作りに取り組み、すばらしい硬筆作品を仕上げた子どもたちのがんばり…、胸がいっぱいになりました。市席書会展が楽しみです。本当にありがとうございました。

２　「硬筆」学習（きれいに書く）のコツ・ポイント

１　構えを大事にしよう。（姿勢、用具、鉛筆の握り方…）
２　いつも、文字の中心を意識して書こう。
３　文字の大きさ・こさが同じになるように書こう。
すると、「とってもきれいでステキな文字が書けます。そうそう。とっても上手に書けてます。」（先生方のお話より）

②　活動への意欲を高める取組

ボランティアバッジ

コーディネーター室　（校区公民館）

- ボランティアバッジの活用（不審者対策も）
- 保険対応
- 地域コーディネーター室（地域本部）とボランティア控室の確保
- 学校行事等への招待
- 活動写真や子どもからの手紙を活用したお礼状の送付

③　効果的なネットワークづくり

・ボランティア同士のネットワーク

・地域本部間のネットワーク

読み聞かせ活動

登下校の安全指導

（2）　活動内容の明確化と学校との連携

学校内掲示による広報

① 校長会等をとおした事業の理解促進

② 教育課程・指導計画への位置付け

③ 学校からの積極的な情報発信

（3） 新規実施校の取組

①地域本部の設置（5本部7実施校）

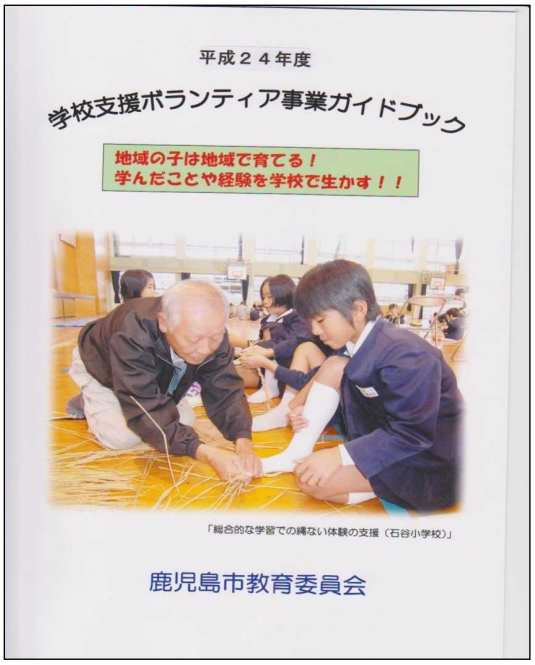
・7～8月　準備期間　　・9月～支援活動実施

②新規コーディネーターの研修

・新規地域コーディネーター業務等説明会
・地域コーディネーター研修会（年4回）
・新規地域コーディネーター研修会（3日）
・外部地域コーディネーター養成研修会への参加

コーディネーター養成研修会

③　学校・地域への事業説明と啓発



ボランティア説明会
（地域コーディネーター）

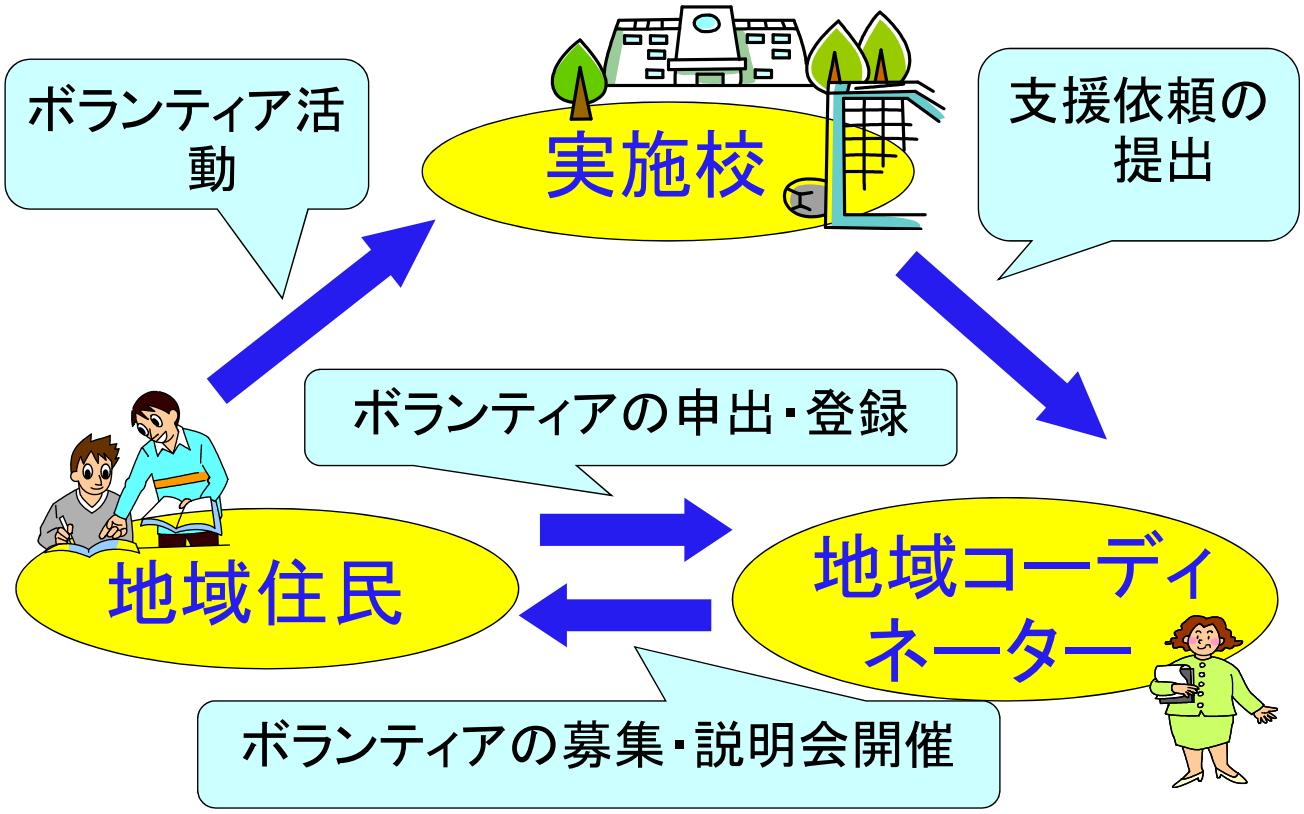
ボランティア募集
（地域コーディネーター）

地域教育協議会

学校職員へ説明、準備

事業説明会の実施（事務局）

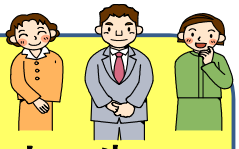
○　学校支援ボランティア事業の流れ



（4）　事業に関する成果

○　子どもの感想より

・ミシンの調整の仕方や難しいところを何回も教えてくださって、仕上げることができたので、うれしかった。
・持久走で見守ってくれたり、途中で声をかけてもらったりして,安心して走れて元気も出た。

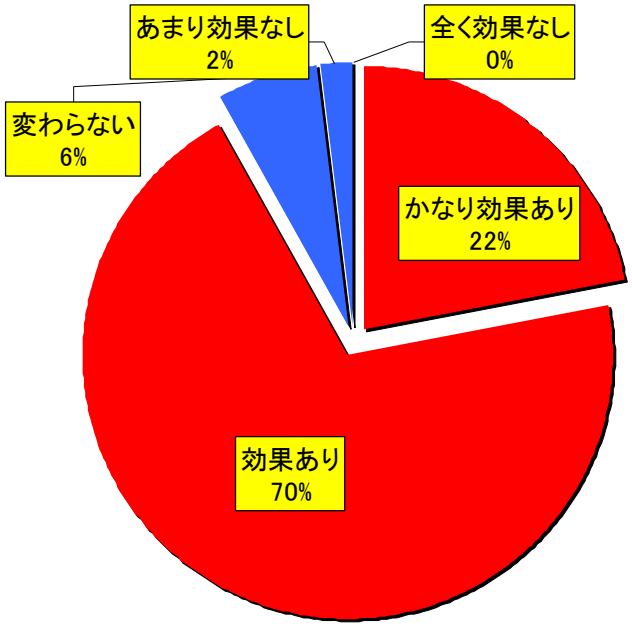


○　ボランティアの感想より

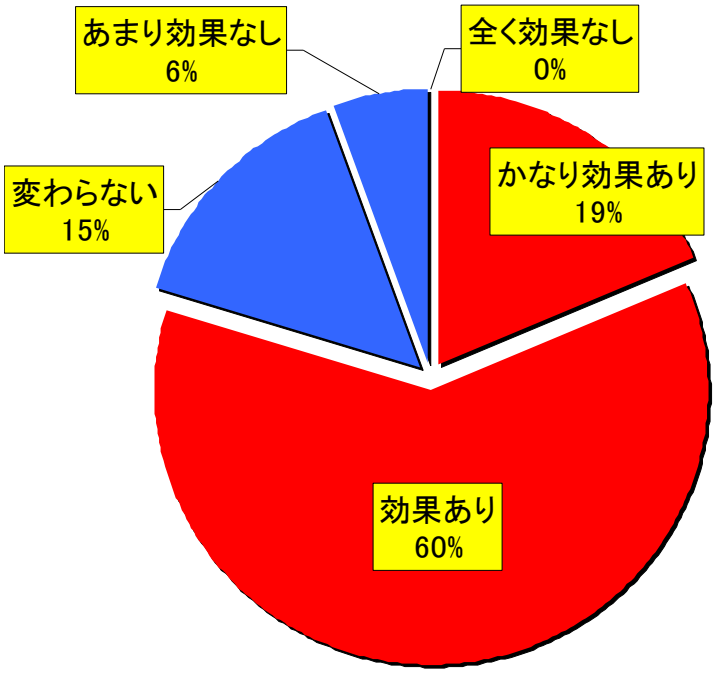
・子どもたちとのふれ合いやお礼の言葉をもらうことで生きがいを感じることができた。
・学んできたことや経験を身近な学校で活かせたので、次の目標を持つことができた。

○　実施校アンケート結果より

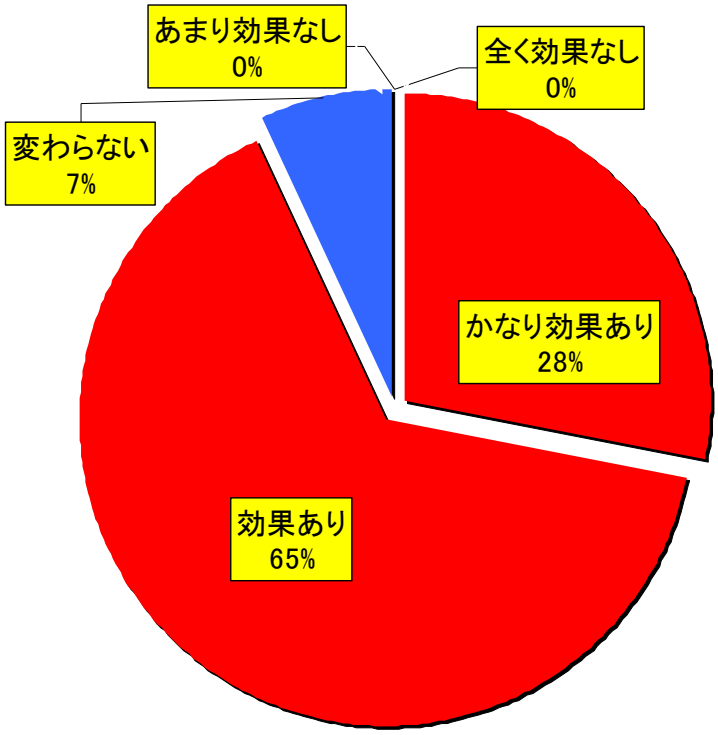
①子どもたちが地域住民と交流することにより、あいさつやコミュニケーションが行われるようになった。



②　地域住民が学校を支援することにより、教師が児童と向き合う時間が増えた。



③　本事業により地域と学校の関係が深まった。



3　今後の取組予定

（1）　実施校の拡充

・地域本部39本部、実施校78校実施に向けて

（2）　中学校での実施

・実施方法、時期についての検討

（3）　事業実施の検証と問題点の整理

地域の子は地域で育てる！
学んだことや経験を学校で活かす！！